

会則を全面見直し・般老連總會開く

平成二十二年度般老若老人クラブ連合会(辻純雄会長)の総会が四月十日、般若農業構造改善センターで開かれました。前年度並みの予算・事業などが決められたほか、今回は会則の全面的な見直しが行われ、慶弔に関することや会則の改正に関する記事を条文として明記し現行十六ヶ条の条文を十八ヶ条に改めました。

内規の中で確認事項とされていた「会長の中で確認事項とされていた」「会長の選出は、原則として単位老人クラブ会長の互選による」と改め、会長としての適任者があれば必ずしも地区の輪番にこだわらないこととしました。

また、理事会の協議でその都度定めるとしていた慶弔費についても、現役員、歴代会長の死去に際しては五千円の弔慰金(香典)を贈ること、並びに現役員の二十日間以上をわたる入院に際しては五千円の見舞金を贈ることが明文化されました。なお空席だった高齢者学級の副学級長に北井幸男さん(三合)が選任されました。

平成二十二年度般老連役員(光寿会関係分)

副会長 坂東 国香

理事 北條 蘇春

幹事 八田 了一

高齢者学級事務局長 八田 嵩

季節のうた

朝涼や厨に匂う若荷の子

故坂東そと匂集「柿の花」より



平成22年4月

こんなに変わりました

平成20年10月

国道359号線砺波東バイパス頼成・久泉間が開通しました。右は着工前、左は完成後、いずれも庄東製作所前(交差点名 頼成北)から撮影したものです。写真の左手には武部則行さん宅の杉木立と遠景に三輪病院、右手には山崎悦男さん宅が写っていますが、よく見ると完成後の写真には、新設された砺波消防署庄東出張所も写っています。

この一年半の大きな変わり様は、頼成の長い歴史の中でも特筆すべきものとなるでしょう。



いかるぎ野今昔 ⑮ バイパス着工直前の頼成  
写真はバイパス着工直前の中頼成周辺です。青いシートのみえるところは、工事に先駆けて行われた文化財の発掘調査の現場。平安末期の須恵器(すえき)や鎌倉期のものでと思われる建物、溝の遺構などが出土し、改めてこの地の歴史の古さが再確認されました。

バイパスの無いこの風景。今はまだ私たちの記憶の中にしつかりと根付いていますが、二十年、三十年という時の流れとともに忘れ去られ、いずれは歴史の扉の向こうに消え去っていくことでしょう。後々、いかるぎ野の往時を偲ぶよすがとするために、この一枚を広報「光寿」の中に留めておきたいと思えます。

# 4月のらんじよ浮世事

4月15日のらんじよ浮世事亭は、やまぶき荘でお花見昼食会を催しました。

参加者は50名、バス二台に分乗して、ちょうど満開を迎えて咲き誇る松川除け、水記念公園、庄川嵐山などの桜を満喫しながら、黄色いやまぶきの咲き乱れるやまぶき荘に着きました。午前中は健康センターの中川保健師から、高齢者に多い尿もれ対策のための「もらさん尿体操」の指導講話を聞きました。

昼食に桜の花をあしらったお花見弁当を頂いたあとは、入浴、昼寝、談話など思い思いに時間を過ごし、午後三時やまぶき荘を後にして帰路につきました。

次回は平成22年5月19日(水曜日)です。

大画面ビデオシアターで、好評だった第一部に続いて「世界の光 親鸞上人」の第二部を上映します。分かりやすいアツメで、浄土真宗の開祖親鸞さんの生涯を知ることができます。どうぞお気軽にらんじよ浮世事亭に足を運んで下さい。

10時頃より。

午後1時半、阿弥陀経読誦と御文の書写(今回は白骨の御文を書写します)



いたつきの床にとこ臥す妻見舞うたび  
 送り合めぐわさる深き縁えんかな  
 林 孝一  
 病の床に卧した連れあいを見舞うたびに、赤の他人であつたのひとと、こんな程の老いを迎えることになった縁の深さをしみじみと思う。私たちの誰もがいつかは出合つて抱くことになる思いでしょうか。心に染みる一首です。

## 一万五千円相当を二年間



高齢者運転免許自主返納のロゴマーク

高齢者の交通事故防止対策の一環として、砺波市はこのほど自主的に免許証を返納した高齢者に、年間一万五千円相当の公共交通機関利用券を支給することにし、今年四月から実施しています。

この制度は今年四月一日以降に有効期限内の全ての運転免許を自主的に返納した七〇歳以上の高齢者を対象に、年一回二カ年にわたつて支給するというもので、市営バス定期券、加越能バス回数券、市内のタクシー利用券のいずれかを選ぶことができます。運転にやささかでも不安を感じずようになつたら、自分のためにも家族のためにも、免許返納を決断しましょう。

当会会員でもある般若自治振興会長林茂之

弔事  
 中神 喜世 様  
 四月二日死去  
 享年 数え年八十六歳  
 謹んでご冥福を  
 お祈りします

### 光寿会の日帰りお楽しみ旅行に参加しましょう

### ※新緑の立山町方面へ※

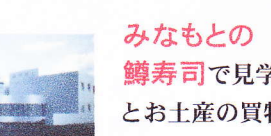
5月26日(水) 会費 男6000円 女5500円



立山カルデラ砂防博物館を見学



ホテル雄山で昼食・休憩・入浴



みなもとの鱒寿司で見学とお土産の買物



いかるぎ 鶴木  
 国民の大きな期待を受けて誕生した鳩山民主党の支持率が急降下して政局が混乱し、新党がいくつも生まれそうな気配です。そのうち慣れるのかも少しは上りませんが、新しく生まれた「みんなの党」立ち上げられ「日本」などという政党名は、漢字の政党名に慣れ親しんできた私たちには何となく違和感があります。

五つの起りを見ますと、戦後すぐに、保守・革新合本進歩党、日本協同党、日本社会党、日本共産党と、漢字五文字で、如く、日本の利益を担い、国名を冠した一党一制の満ちた日本の国益を担うという名目だといふ九〇年代、小党が乱立したころに、「さきがけ」と「みらい」が、これらはいくつかの希望を抱かせる響きがありました。何となく、国民に希望を抱かせる響きがありました。それとなく、これらはいくつかの希望を抱かせる響きがありました。立ち上り枯れなど、椰揄されるような名称は、志を掲げても今一つ迫力に欠けるように思えてなりません。また、どうも公職選挙法に基づき正式名称のほが略称も合わせて届けることになっています。二番煎じの略称を名乗るなど、新党と伝えるにはいささか見識に欠けるのではないのでしょうか。これを書いたあと、さらに「日本創新党」「新党改革」が誕生しました。

氏名	生年	没年	年齢	住所	氏名	生年	没年	年齢	住所
藤崎	3月	7日	91歳	公文	名導	3月	7日	91歳	公文
あとし	5月	17日	85歳	公文	善坂	5月	17日	85歳	公文
林林	5月	19日	95歳	善坂	公文	5月	19日	95歳	善坂
林林	7月	26日	83歳	坂公	北北	7月	26日	83歳	坂公
林林	7月	29日	78歳	公文	北北	7月	29日	78歳	公文
八田	8月	24日	98歳	北北	明原	8月	24日	98歳	北北
林林	10月	18日	101歳	北北	公文	10月	18日	101歳	北北
林林	11月	17日	77歳	公文	明原	11月	17日	77歳	公文
林林	12月	2日	101歳	公文	川原	12月	2日	101歳	公文
林林	1月	17日	99歳	川原	公文	1月	17日	99歳	川原
林林	3月	25日	82歳	公文	名導	3月	25日	82歳	公文

おことわり この記事は四月号掲載の予定でしたが、紙幅の関係で今月号に掲載しました。

★1日	定例役員会
★22日	市老連ベタ
	ンク大会
★26日	お楽しみ日
	帰り旅行

川自治委員長の宗景昭さんが就任されました。長い間ご苦労様でした。なお、後任には安

さんがこのほど退任されました。在任中は地域の抱える様々な課題の解決に強いリーダーシップを持って臨まれ、多大の功績を残されました。長い間ご苦労様でした。なお、後任には安